

借入金の状況

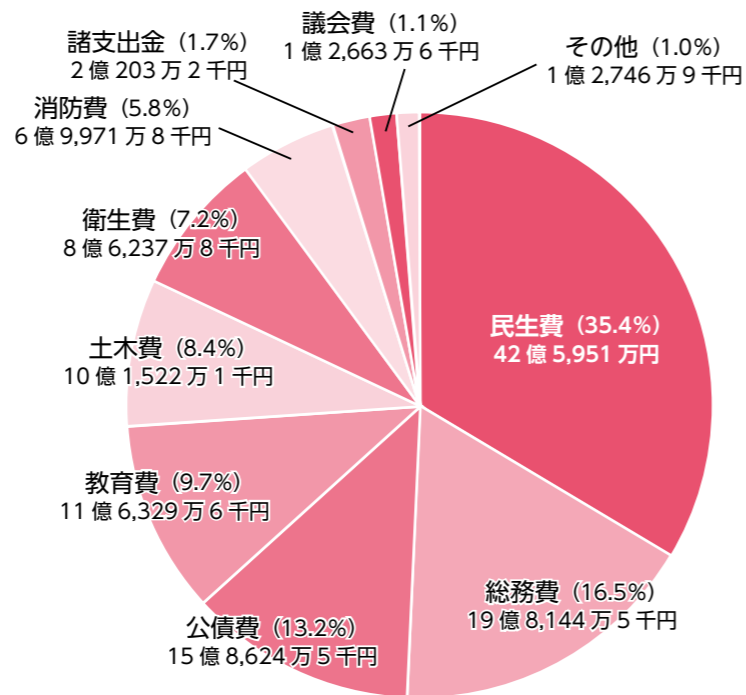
▶ 年度末借入金（地方債）残高 一般会計の残高

平成 29 年度決算額	約 148 億円
平成 30 年度見込額	約 143 億円
平成 31 年度見込額	約 134 億円

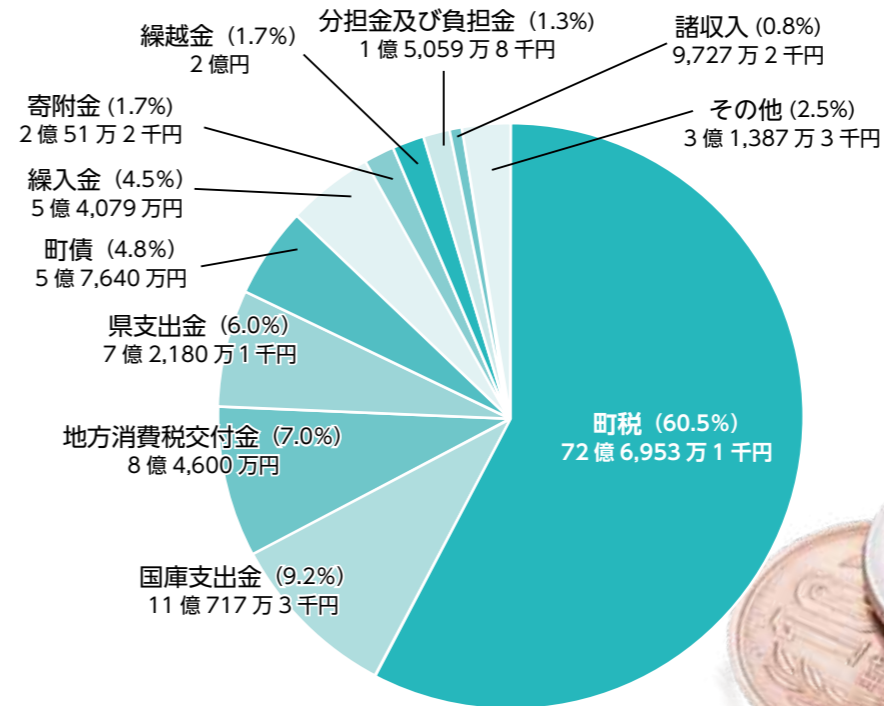
平成 31 年度は地方道路等整備事業、土地区画整理支援事業、防災事業等における事業費の財源を確保するため、借入れを予定していますが、年度末借入金残高については、平成 30 年度見込額と比較し減額となっています。



一般会計の歳出



一般会計の歳入



平成 30 年度 一般会計予算額

118 億円

平成 31 年度 一般会計予算額

120 億 2,395 万円

平成 30 年度から
2 億 2,395 万円の増額（一般会計）

平成 31 年度 三芳町の

予算

町では、厳しい財政状況の中、限られた財源を活かしサービスを行っています。税金がどのように活かされているのか。平成 31 年度予算案の概要をご報告します。☎財務課 415

厳しい財政状況

町の財政状況は、町税の増収が見込まれ、回復傾向が見られるものの、厳しい状態が続いています。

こうしたなか、平成 31 年度三芳町一般会計予算案を作成し議会に上程しました。予算が決定することは、町が行っていく事業を決定したことになります。今年度の予算案を公開します。

一般会計の概要

町の自主財源である町税収は増加したものの、今後も「福祉・医療・介護」などの社会保障経費や公共施設の老朽化対策等の将来負担増が見込まれます。これらの将来負担を見据え、限られた財源の中であつても行政サービスの低下にならないように、既存事業や新規事業等を十分に精査し予算を編成しました。

予算総額は 120 億 2395 万円、前年度と比較して 1.9% の増額となっています。歳入の主なものとしては、町税が全体

の 60.5% を占め、国庫支出金 9.2%、地方消費税交付金 7.0%、県支出金 6.0%、町債 4.8%、繰入金 4.5% などです。

歳出の主なものとしては、民生費が全体の 35.4% を占め、続いて総務費 16.5%、公債費 13.2%、教育費 9.7%、土木費 8.4%、衛生費 7.2% となっています。

また主な事業は、オリンピック・パラリンピック事業、藤久保地域拠点基本計画策定支援事業、スマート IC 利便性向上促進事業、学校トイレ洋式化改修事業、公共交通補助事業、平地林萌芽更新事業などを予定しています。

特別会計の概要

特別会計は、予算を使用する用途が限定されています。一般の歳入歳出予算と区別して行われている会計です。町には国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の 3 つの特別会計と水道、下水道の 2 つの企業会計があります。

特別会計予算

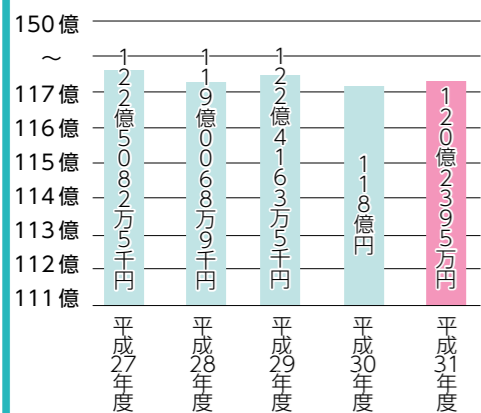
特別会計項目	当初予算等金額	前年比	問い合わせ	
国民健康保険特別会計	3,797,679 千円	△ 5.96%	住民課保険年金 154	
後期高齢者医療特別会計	494,220 千円	4.46%	住民課保険年金 157	
介護保険特別会計	2,597,370 千円	8.98%	健康増進課介護保険 184	
水道事業会計	収益的収入	851,204 千円	△ 1.25%	上下水道課水道業務 上下水道課下水道業務 ☎ 049-274-1014
	収益的支出	834,286 千円	△ 1.77%	
	資本的収入	157,548 千円	△ 23.87%	
下水道事業会計※	資本的支出	354,308 千円	5.28%	※下水道事業は平成 31 年度から公営企業会計へ移行します。
	収益的収入	880,090 千円	—	
	収益的支出	756,225 千円	—	
	資本的収入	74,490 千円	—	
	資本的支出	283,562 千円	—	

特別会計の中でも国民健康保険は依然として厳しい財政状況です。また、後期高齢者医療についても年々被保険者数が増加しており、被保険者の皆様のご理解とご協力により、医療費適正化などさらなる国民健康保険、後期高齢者医療の財政運営の健全化につなげていきます。

介護保険特別会計は、高齢者の増加により介護サービスの利用増が見込まれることにより前年度よりも増となりました。

企業会計の水道事業では、継続的な安定給水のため、本年度の主な事業として自家発電機設備更新と配水管布設替を行います。

一般会計 当初予算の推移



過去 5 年間の推移